

揖斐川が結び



# えつみ 山だより 川だより

No. 1  
2009



発行/平成21年1月6日  
発行所/★国土交通省 中部地方整備局 越美山系砂防事務所  
〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137  
Tel.0585(22)2161 Fax.0585(22)2174  
(ホームページ)http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/  
(e-mailアドレス)etsumi@cbr.mlit.go.jp

## “災害” は知らないうちにやってくる!!



越美山系砂防事務所長  
廣野 一道



新年あけましておめでとうございます。

去年は台風こそなかったものの集中豪雨に見舞われた揖斐地域ですが、今年  
は平穏無事な年にならん事を期待します。全国的には岩手・宮城地震や各地を  
襲ったいわゆるゲリラ豪雨、活発化する火山活動などによる痛ましい“災害”  
が発生しています。

事前の備えをどんなにしても、地球の営みである洪水や土砂移動を止めるこ  
とは不可能ですが、“いのち”だけは自分で護る事が可能です。ほんの少しの  
学ぼうとする心（自助）と助け合い（共助）で多くの“いのち”が助かるので  
す。砂防事業はその助かろうとする行為を強力に手助け（公助）するものなの  
です。この3つの助かろうとする行為がそろった時に初めて、助かる“いのち”  
が助かるのです。

“災害”はほとんどの場合、知らないうちにやってくる、あるいは知ってい  
ても助かろうとしない場合にやってくるといっても過言ではありません。どれ  
ほどの被害が、いつ、起こりうるのかを事前に知りえれば、“いのち”だけは  
助ける事ができるはずで。さすがに地震だけは、「いつ」起こるのかを正確  
に予測するのはまだできませんが、地震の現象と対処方法は既知なので、  
死なないための準備だけはできるはずで。

災害に遭ってから、「まさか自分が・・・」などといって後悔しないために、  
生き残るために、さあ、今から“災害”のことを知って、備えていきましょう！



濃尾地震（明治24年発生）で発生した天然ダム（8個確認できる）：岐阜地方気象台

## ● 揖斐川集中豪雨

— 9月2日～3日

日本海と四国沖にある低気圧の影響で暖かく湿った空気が東海地方や西日本に流れ込み東海地方や近畿地方では記録的な大雨となりました。

9月2日の降り始めからの降水量（3日16時まで）は、国交省小津観測所（揖斐郡揖斐川町小津）で579mm、国交省杉原観測所（揖斐郡揖斐川町杉原）で473mmを記録しました。この豪雨により、揖斐川町東津汲の下谷では流出した大量の土砂が国道303号を塞ぎ、約39時間にわたり全面通行止めとなるなど、揖斐川町内を中心に各地で土砂災害が発生しました。



### ◇ 緊急点検

#### 1. 上空からの緊急点検

- ・ 9月3日に関東地整災害対策用ヘリコプター「あおぞら号」を始めヘリコプター2機による被害状況の収集・把握を実施。



#### 2. 土砂災害危険箇所調査

- ・ 9月4日～5日には越美山系砂防事務所管内の揖斐川町28箇所、管外の揖斐川町春日4箇所、池田町19箇所、9月8日には垂井町7箇所の合計58箇所の点検を実施。中部地整の他の6事務所から14名の応援を頂いた。



### ◇ 周辺の公共施設等の被災状況

#### 1. 国道303号久瀬トンネル北出口周辺

下谷から流出した大量の土砂は、国道303号久瀬トンネル北出口周辺に流出し、9月3日1時から9月4日16時までの約39時間、全面通行止めとなった。4日16時には応急復旧が完了し、片側交互通行になった。



#### 2. 県道小津トンネル出口

県道神原西津汲線が小津トンネル出口において土砂崩れにより通行止めとなった。3日12時40分には片側交互通行による復旧を完了。



#### 3. 久瀬発電所

大量の土砂が久瀬発電所に流入した。



## ●本巣市 防災訓練

—8月31日(日)

全国各地で土砂災害が多発し、多くの人々が土砂災害の犠牲となっています。土砂災害の危険が迫った時は、速やかに安全な場所へ避難することが必要です。いざというときにみなさんが迅速な避難行動をとることができるように本巣市根尾を対象に、住民のみなさんと国土交通省や岐阜県、本巣市、その他関係機関と協力して、土砂災害を想定した防災訓練を行いました。



救護訓練



簡単雨量計作り



サバイバル飯炊き体験



炊き出し訓練

## ●防災講演会

—10月22日(水)

当事務所は、昭和40年9月の台風24号による集中豪雨で揖斐川上流域が未曾有の大災害にみまわれたことを契機に、国による直轄事業を行うこととして昭和43年に設置され、本年で40年になります。

当地域は、濃尾地震災害等の災害経験を持つ揖斐川流域にあり、住民の方々へのこれら災害経験の伝承、防災対策の更なる推進の必要性を再認識していただき、併せて今後の異常気象や大規模災害などの自然災害に備えるきっかけとなりますよう『防災講演会』を谷汲サンホールにて開催しました。多くの方々が来場され、会場はほぼ満席になるほど盛況でした。



宗宮揖斐川町長



藤原本巣市長



中野本省砂防部長



パネル展示



土砂災害模型



特別講師 栗野 守之氏



会場の様子(満員御礼!)

## ●岩手・宮城内陸地震に対する緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)派遣

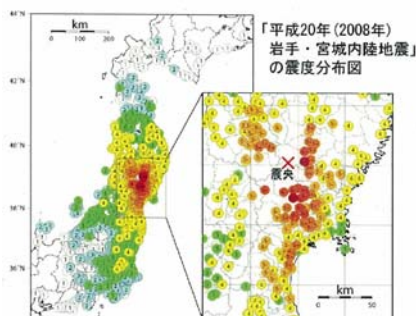
—6月14日(土)

平成20年6月14日(土)に発生した岩手・宮城内陸地震に対し、越美山系砂防事務所では、国土交通省 災害対策本部長の指揮のもと、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を6月14日22:00に現地に派遣しました。

現地では、震度6弱以上の地域(宮城県栗原市旧栗駒町地内)において、がけ崩れや地滑り等の予想される箇所を重点的に調査を行い6月18日に第二陣へ引き継ぎ帰還しました。

### 1. 地震の概要(気象庁発表)

- ①発生日時 : 平成20年6月14日 8時43分
- ②震源地 : 岩手県内陸南部  
(北緯39度01.7分、東経140度52.8分)
- ③震源の深さ : 8km
- ④地震の規模 : M7.2(暫定値)
- ⑤最大震度 : 震度6強  
(岩手県奥州市、宮城県栗原市)
- ⑥余震(震度5弱以上) :  
M5.7 6月14日 9時20分  
震度5弱(宮城県大崎市)



「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の震度分布図



被災状況調査班



地すべり現場



土石流災害現場



住民への聞き取り調査

## ●神戸谷 完成植樹

—10月2日(木)

平成18年度より事業を進めてきました神戸第1砂防えん堤工事が9月末に完成しました。完成に当たり、えん堤付近の環境保全の一環として、地元根尾小学校4年生14名による植樹を行いました。



## ●出前講師『揖斐川流域の防災と砂防』の講義

—12月3日(水)

当事務所では、砂防に関する各種の知見を地域の皆さんに還元し、併せて地域との交流を深めることにより、地域との信頼関係を高め相互理解の一層の増進に寄与することを目的として『出前講師』制度を行っています。今回、揖斐川町立北和中学校(2年生 12名)より依頼を受けました。




今回の『えつみ 山だより 川だより』は、いかがでしたか？ 2008

年度に入って休んでいましたが、今回は“昨年を振り返って”を発売致しました。昨年は9月2、3日のゲリラ豪雨に見られますように、「災害は忘れたころにやって来る」をまさに実感した年でした。私たち越美山系砂防事務所としましても、今後とも住民の皆様方が安全・安心して生活出来ますよう、防災施設の整備に努めたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。🍀

●皆さんの「川だより」「山だより」を、お便りでお聞かせください。メール(アドレスは表紙参照)でのお便り、ご質問も大歓迎です。お待ちしております！

※掲載にあたっては、基本的にはお名前とご住所の一部を表示しますが、匿名も可能です。

あて先 

■国土交通省 越美山系砂防事務所

〒501-0605

岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137

担当：奥田

TEL：0585-22-2161